



東広島市立三津小学校 コミュニティ・スクールだより **第1号**

百試千改

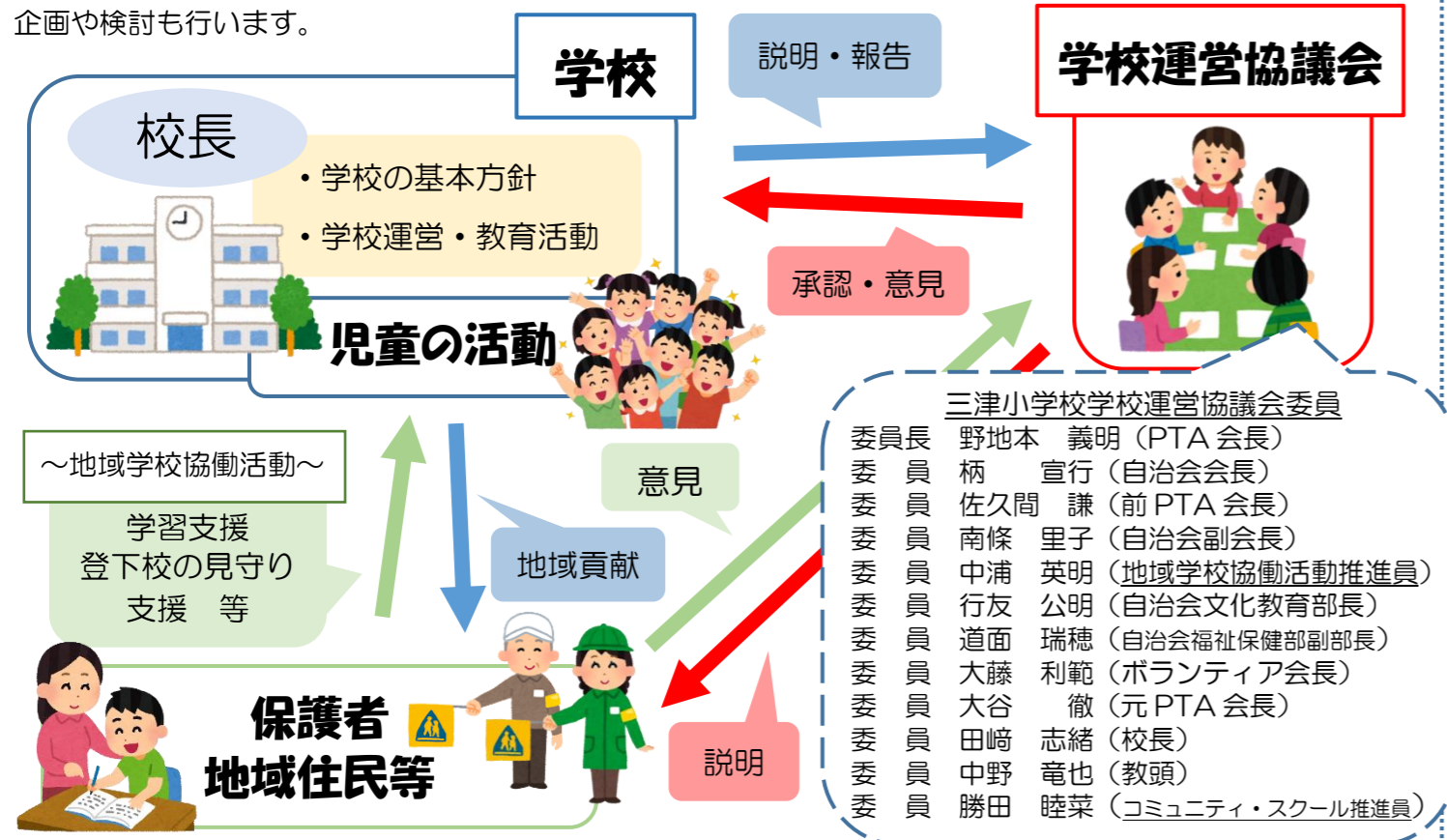
令和5年5月17日
三津小学校運営協議会
CS推進員 勝田睦菜

コミュニティ・スクール 2年目!

三津小学校がコミュニティ・スクールになって、2年目となりました。今年度は昨年度以上に、コミュニティ・スクールとしての活動を充実させ、保護者・地域の皆様に発信していきます。

コミュニティ・スクールとは…

学校・保護者・地域の皆様が目指す子供像など目標を共有し、その実現に向けて意見を出し合うことで、児童の成長を支えていく仕組みです。地域に愛着や誇りを持ち、地域に貢献したいと思える児童の育成を目指し、地域とともにある学校づくりをすすめるようとするものです。学校のカリキュラム等に基づき、地域学校協働活動の企画や検討も行います。



コミュニティ・スクールの効果

- 子供**：○自己肯定感や他人を思いやる心の育成
○地域の担い手としての自覚の高まり
- 教職員**：○地域の理解と協力を得た学校運営・社会に開かれた教育課程の実現
○地域人材を活用した教育活動の充実
- 地域**：○経験を生かすことで生きがいや自己肯定感の向上
- 保護者**：○保護者同士や地域住民との人間関係の構築

コミュニティ・スクールのメリット

- 持続可能性**→校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって**地域との組織的な連携・協働体制**がそのまま**継続**できる。
- 社会総掛り**→学校や地域の課題に対して**みんな当事者意識**を持ち、**役割分担**の下、**連携・協働**による取組ができる。
- 目標・ビジョン共有**→子供たちの課題を踏まえ地域でどのような子供を育て、何を**実現**するのかという**目標・ビジョン**を共有できる。

~第1回学校運営協議会を開催~

4月21日(金)に、次のような流れ、内容で開催しました。頂いたご意見を踏まえ、子供たちの成長を支える取組の充実に向けて、協議を続けていければと考えています。

【当日の流れ】

- 開会
- 出席者紹介
- 協議事項等
 - 第1号議案「会長等選出」について
 - 第2号議案「令和5年度東広島市立三津小学校学校運営基本方針」について
 - 第3号議案「コミュニティ・スクール認知度向上」について
- 授業参観
- 意見交流
- 閉会

【委員の方々からの主な意見】

- 三津盆踊りの練習の様子を見て、高学年が伝統を引き継いでいる。
- 文化遺産(三津盆踊り)の引き継ぎがしっかりできている。全校をまわってみて4月のこの時期にはよくまとまっている。子供たち一人一人の思いをしっかり引き出し、夏頃に向けて学級づくりを再構築していただきたい。
- 先生たちのご尽力・ご苦労を感じた。子供たちの能力はすごい。
- 1年生は自由感がある。2・3年は成長を感じた。高学年の盆踊りは4月の段階ですごい完成度だと感じた。
- ベテランの先生はさすが上手に教えておられる。教職員の男女比が気になる。
- 英語の授業(4年生)で児童が積極的に会話していた。小学校が地域の核。たくさんの地域の人々が学校にかかわりを持てるとよい。地域には、掘り起こせば学校のために何かをしたい人はたくさんいると思っている。
- 学校の築山は現在子供たちは立ち入り禁止となっている。蛇や倒れそうな石の灯籠など、子供たちにとって危険があるからであろうか。自分が子供のころは池に水があり、みんなが遊び集う場だった。また、水を入れてメダカとか鯉とか、生き物を飼う等、教育的な取組はできないだろうか。
- 新しい取組はどうしたらできるかを考えていく。そのためには、色々な考えの人がいるのでリーダーも必要であろう。
- 将来、子供の数の推移はどのようになっていくか。少子化を踏まえ、市内の他校の例も参考にしながら、特色ある学校づくりを進めてほしい。

三津小コミュニティ・スクールのロゴマークと お便りの名前ができました!



ロゴマークの背景には、正福寺山公園の桜の写真を使用しました。三津の特徴である酒造りをアピールしたいと思い、おちょこ・徳利をイメージして作りました。三津小の校章と杜氏の里の文字を入れて、三津らしさもアピールしています。

また、お便りの名前を三浦仙三郎さんの醸造のやり方である「百試千改」にしました。「百回試して千回改める」という言葉のとおり、地域の皆様の知恵をお借りしながら学校をよりよいものにしていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

